

環境経営 基礎学 — CSR戦略論 —

『CSR総論』

2012年5月26日

岡本 享二 (おかもと きょうじ)
ブレーメン・コンサルティング(株)

目次(2012年度の進行)

- ・ 第1限：「CSR概論」
 - 自己紹介⇒この講座の狙い⇒CSR概論
- ・ 第2限：「SCMの動向と課題」
 - SCMの国際的な動向
 - 紛争鉱物、ランドラッシュと原材料調達
 - クラス討論 – SCMの課題とSCMウォッシング –
- ・ 第3限：「先進国の消費問題」
 - 消費問題と南北格差(グローバル化の功罪)
 - 古着から見た消費問題
 - クラス討論 – 消費問題の認識と解決方法 –

講義の目的と狙い

- ・従来の大企業を中心に考えられてきたCSRから、消費者(生活者)に焦点を当てたCSRの新しい視点を説く。
- ・豊富な企業事例と欧米の最新事例を紹介しながらCSRの本質と、CSRウォッシングともいふべき見せかけのCSRを例をあげて断罪する。
- ・正しいCSRをベースにした新しいビジネスの展望を探る。
 - CSRの成り立ちと現状を知り、CSRの本質を考える。
 - 見せかけのCSRを見抜き、その原因を探ることで、正しいCSRの普及に供する。
 - CSRの本質から新たなビジネスチャンスを得る。

CSRの変遷(CSR1.0~3.0)



- ・トリプルボトムラインの考え
- ・コスト要因
- ・やむなく対応
- ・本業への+/-で判断
- ・戦略的CSR
- ・社会との協力
- ・長期的視野に立つ
- ・サステナビリティの追究
- ・社会との役割分担
- ・積極的に社会的課題の解決を目指す

CSRの変遷(CSR3.0~5.0へ)

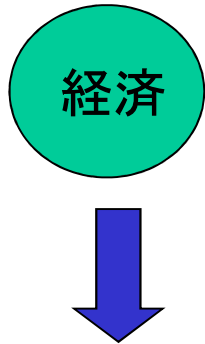


- ・長期的視野に立つ
- ・サステナビリティの追究
- ・**社会との役割分担**
- ・積極的に社会的課題の解決を目指す



- ・経済資本主義から自然資本主義への転換
- ・グローバル化からローカリティへの配慮
- ・バイオミミクリーの社会システムへの応用

CSRの考えは時代とともに変化

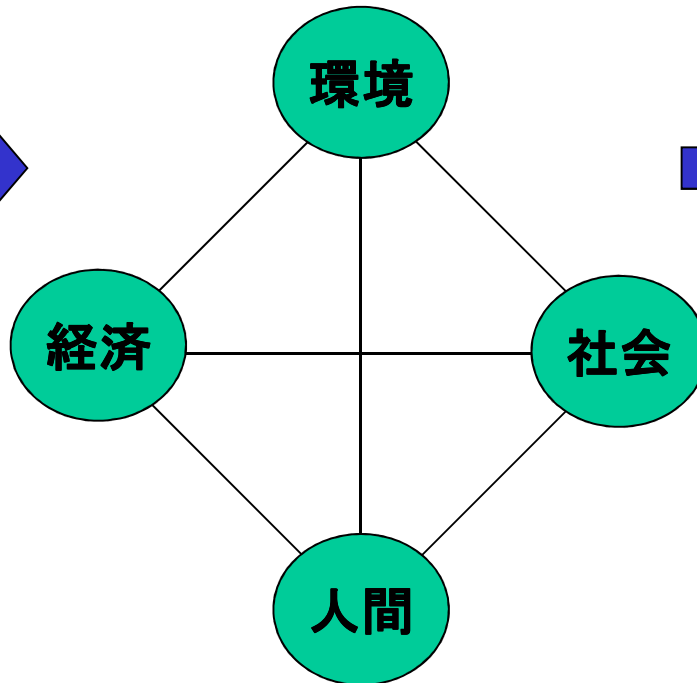
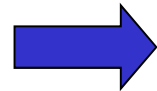
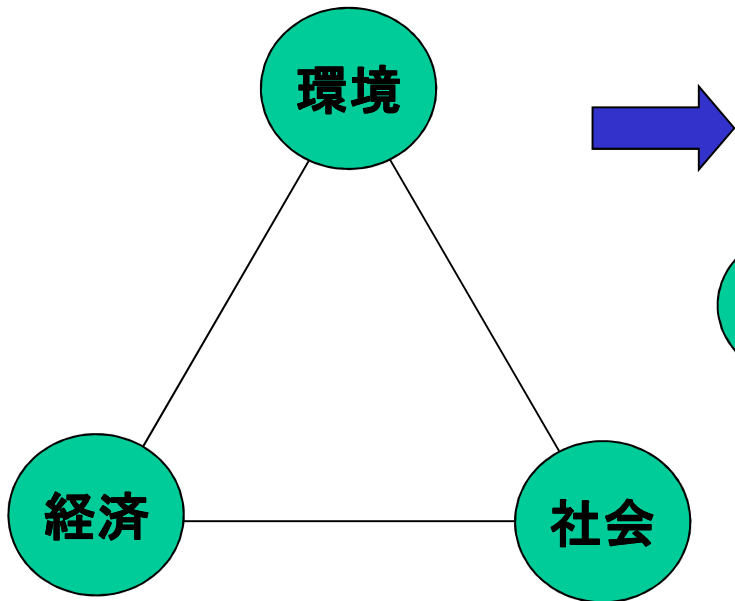


・日本のCSRは「コンプライアンス」「リスクマネジメント」「コーポレートガバナンス」に偏っていないか？

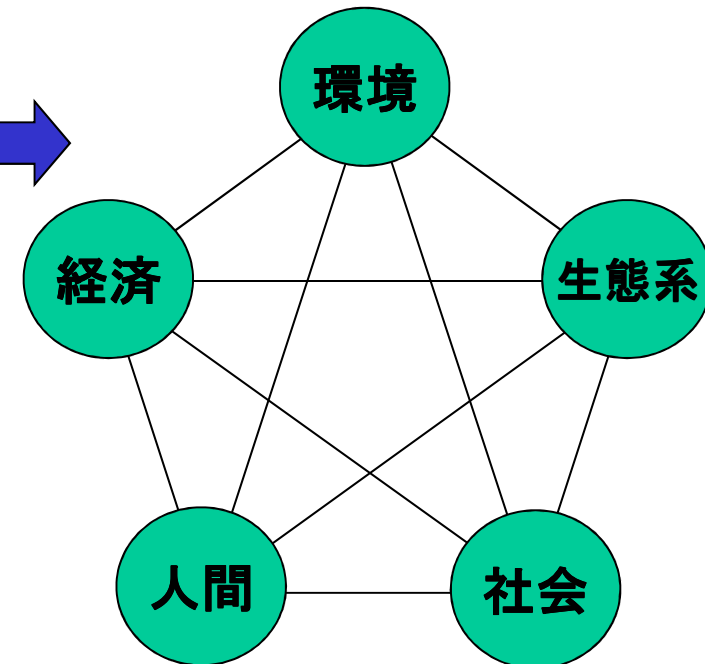
・欧米では「社会問題」「生態系(生物多様性)」にも焦点。

・「環境」と「生態系(生物多様性)」の違いを考えよう。

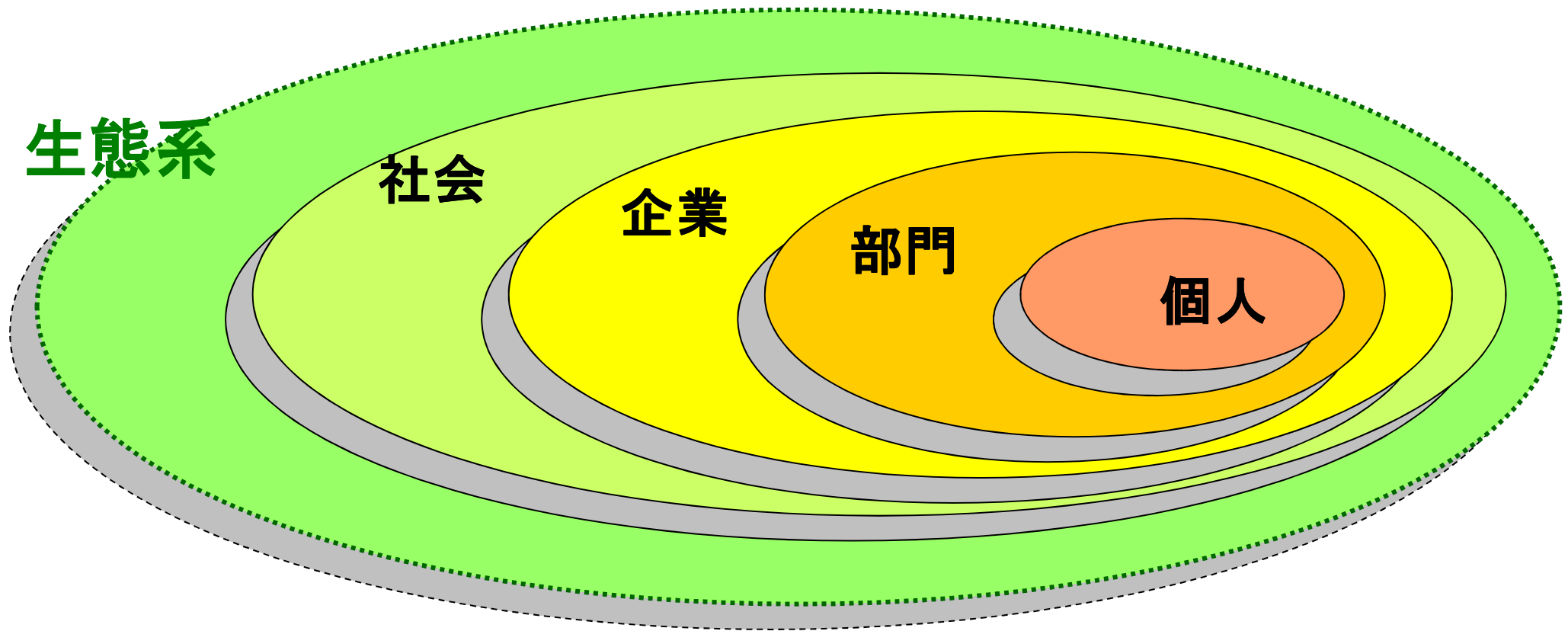
トリプルボトムライン



ペンタゴンネット



「生態系」という視点



【「進化するCSR」 74ページ 図表4-3】



対話と協働

世代間の公正

未来・将来世代

参加体験型
の学び

持続可能な社会の実現へ

種間の公正

自然・生態系

文化と知恵
の再評価

世代内の公正

ひと・世界中の人々